

BeFine!

第48期

第3四半期株主通信

2014年4月1日～2014年12月31日

証券コード 6869

シリーズ・現場のチカラ [4] 5ページ

お客様の願いを カタチにする

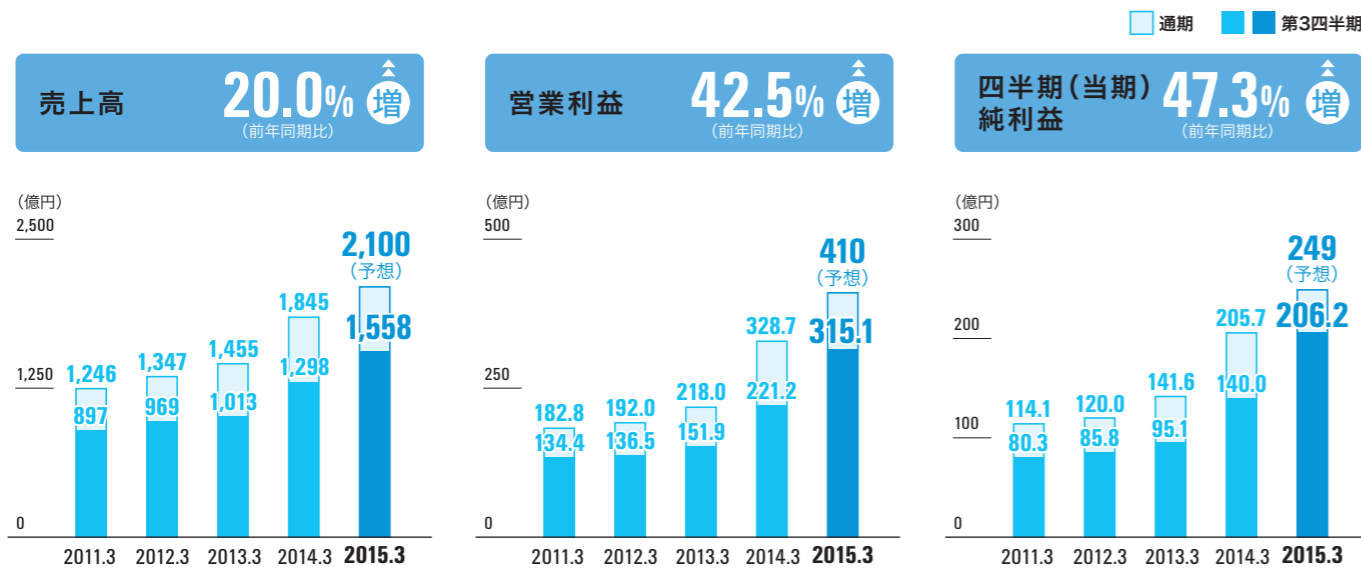


マーライオン公園 (シンガポール)

好調な海外を中心に、売上高および 全ての利益で過去最高を達成しました。

第48期
第3四半期の
ポイント

- ポイント
1 中国・EMEA*地域の大幅な伸長をはじめ、
全ての所在地で二桁増収を達成
- ポイント
2 増収効果に加え、円安の影響もあり
利益が大幅に増加



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2015年3月期 第3四半期の業績は、好調な海外を中心に売上が伸長し、二桁増収を達成しました。また、増収効果に加え、円安の影響もあり利益が大幅に増加しました。売上高は前年同期比20.0%増、営業利益は同42.5%増、経常利益は同43.1%増、四半期純利益は同47.3%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比14.2%増、営業利益は同23.5%増となります。

国内の売上高は、ヘマトロジー分野*や免疫分野が伸長し、微増となりました。海外は、中国やEMEA地域をはじめ、全ての所在地で売上が好調に推移し、現地通貨ベース・円ベースともに二桁増収を達成しました。特に中国では、ヘマトロジー分野や血液凝固分野の市場ニーズの高まりとともに、機器・試薬の売上が増加し、売上高が前年同期比32.9%増と大幅に伸長しました。海外の売上が伸長したことにより、当社グループの海外売上高比率は81.8%となりました。

なお、当第3四半期の業績は売上高、利益ともに前年同期を上回りましたが、第4四半期については当初の計画通りの推移が見込まれることから、2014年11月に公表した2015年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

当期の主な取り組みとして、将来的な子宮頸がんのスクリーニング検査*の効率化を目指し、剥離細胞分析装置「LC-1000」を新発売しました(トピックスご参照)。今後も積極的に研究開発を進め、臨床価値の高い検査を提供し、医療の発展に貢献してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

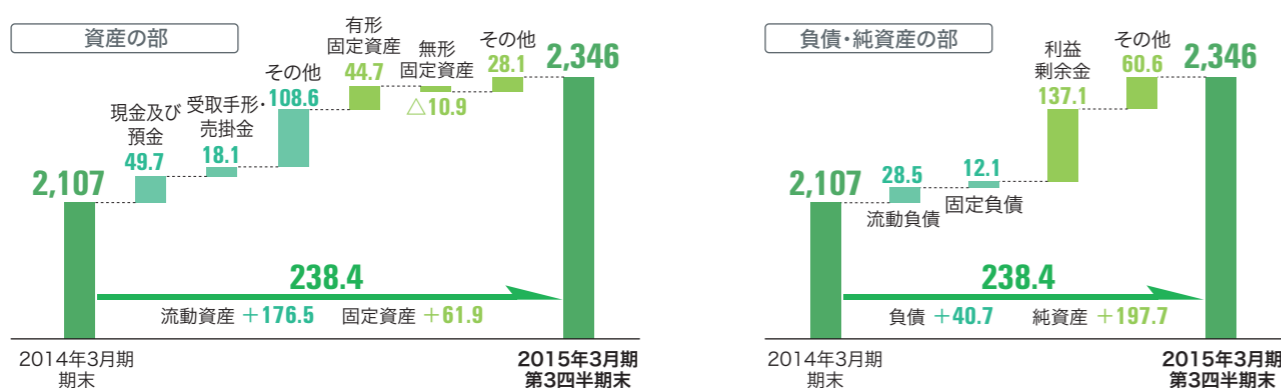
伊蔵 恒

いえずく ひさし

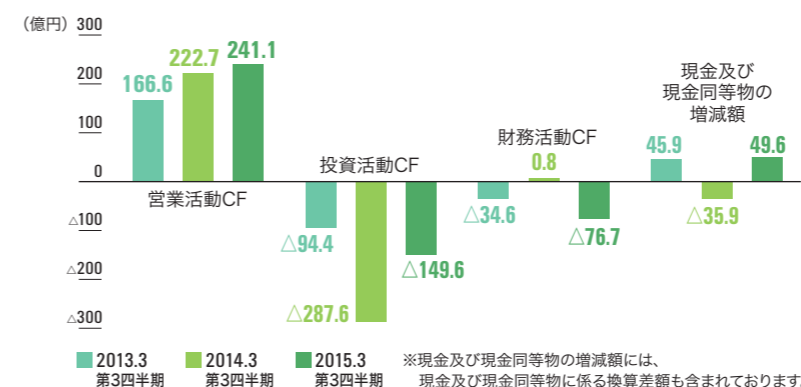
【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。

【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

●貸借対照表の増減要因 (億円)



●キャッシュ・フローの推移



IRウェブサイトのご案内

「メール配信サービス」にご登録ください!

メール配信サービス
読者募集中(登録無料)
最新のトピックスを
メールにてお知らせします。

最新のトピックス
やホームページの
更新情報などを、
メールでお知らせ
しています



Click!

多くの皆様のご登録をお待ちしております!

www.sysmex.co.jp/ir/m_mag.html

※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

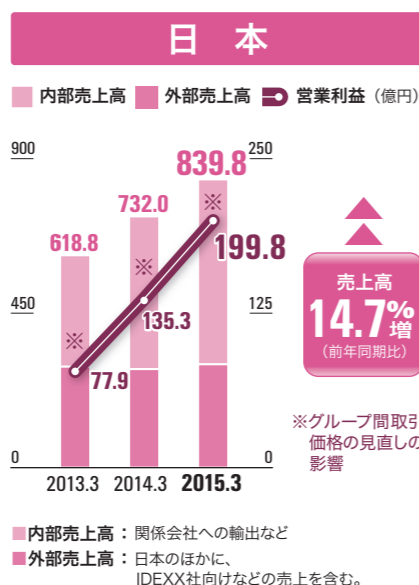
*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*スクリーニング検査: 精密な検査が必要かどうかをふるい分けることを目的に実施される検査。

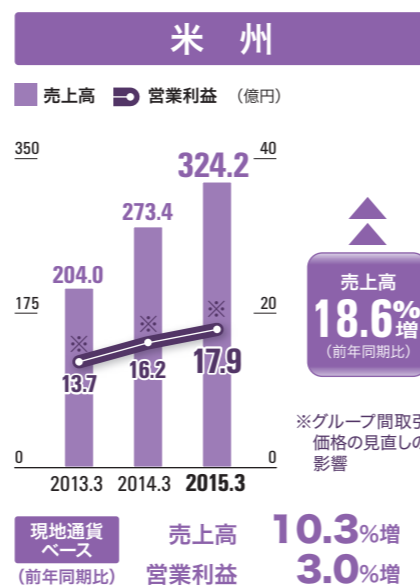


(為替レート(期中平均)) (円)

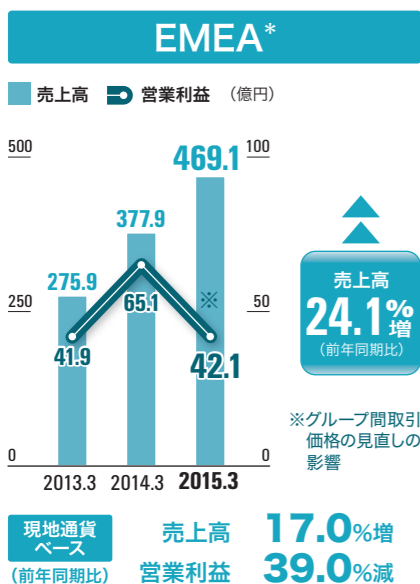
	2013年 3月期 第3四半期	2014年 3月期 第3四半期	2015年 3月期 第3四半期
1USドル	80.0	99.4	106.9
1ユーロ	102.2	132.2	140.3



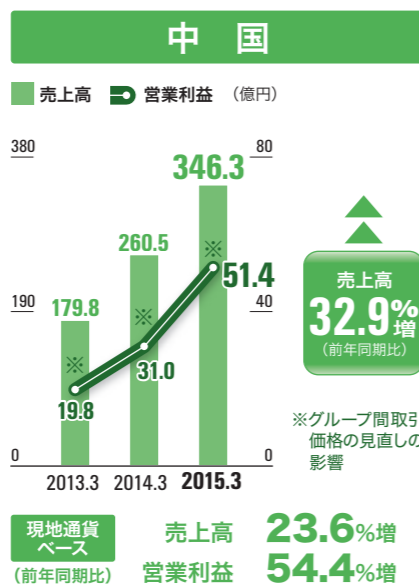
- 1 日本市場はヘマトロジー分野*、免疫分野が伸長し、微増となりました。
- 2 海外関係会社向けの内部売上の増加や、グループ間取引価格の見直しの影響により、増収・増益となりました。



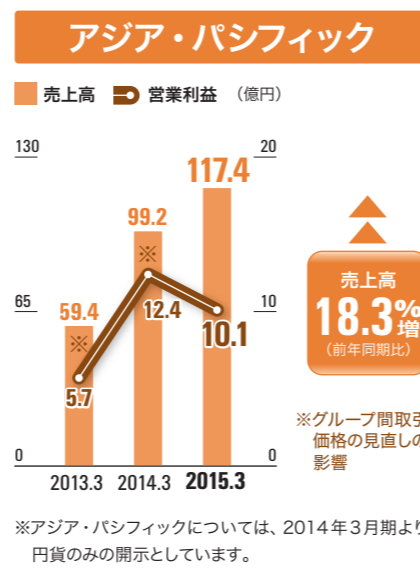
- 1 米国におけるXNシリーズの販売好調に伴い、機器と試薬の売上が増加し、大幅な増収となりました。
- 2 グループ間取引価格の見直しの影響があるものの、売上の伸長による増収効果により、増益となりました。



- 1 ヘマトロジー分野や血液凝固分野の伸長に加え、パルテック社、アイノスティクス社の連結子会社化の影響もあり、大幅な増収となりました。
- 2 二桁増収となるも、グループ間取引価格の見直しにより減益となりました。

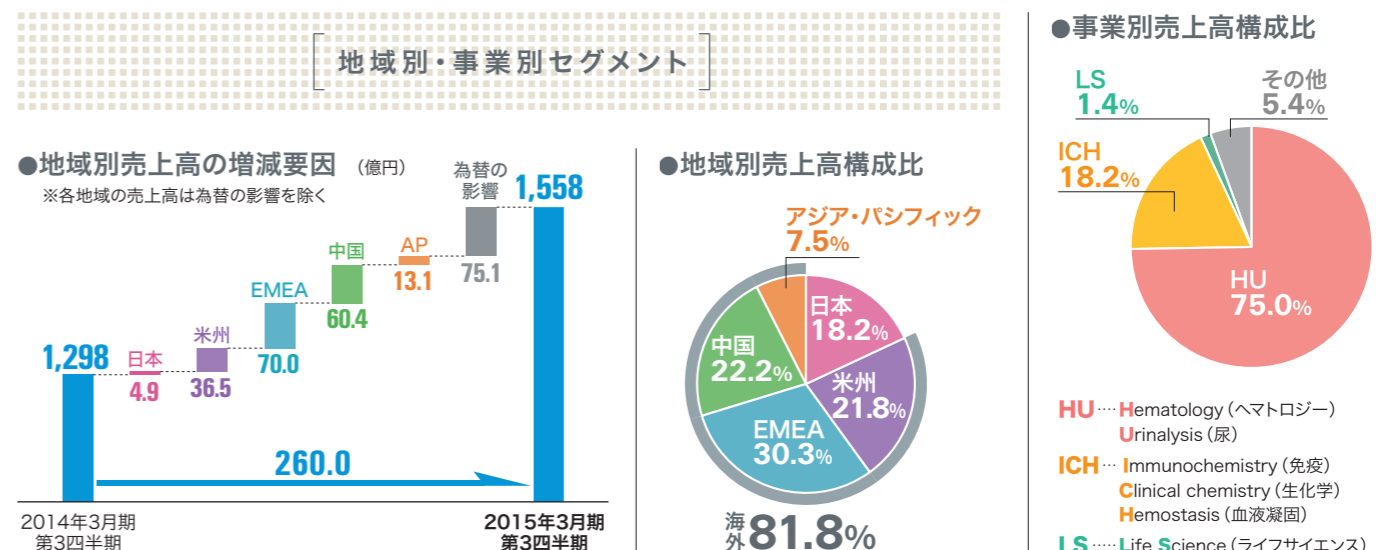


- 1 ヘマトロジー分野や血液凝固分野を中心に、機器・試薬の売上が大幅に伸長しました。
- 2 グループ間取引価格の見直しの影響があるものの、増収効果により大幅な増益となりました。



- 1 オーストラリアの大幅な伸長が、インドなどの減収を補い、増収となりました。
- 2 インドの直販体制の整備や、シンガポール試薬工場の拡張に伴う費用の増加などにより、減益となりました。

(注) 日本からモンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。



グローバルレポート

シンガポールの試薬工場を拡張

—生産能力が従来の3倍以上に—

海外展開に伴い、当社の機器・試薬の売上は、この10年間で国内・海外ともに2倍以上に増加しています。今後も当社のシェア拡大に加え、人口の増加や高齢化、新興国の医療インフラの整備に伴う検査数の増加により、機器・試薬の需要はさらに高まっていくと考えられます。

そこで、当社は機器の生産体制を強化するとともに、国内外の試薬工場の移転・拡張を進めています。現在、国内2拠点、海外7拠点の試薬工場で世界各地の需要に対応していますが、2012年には国内にあるシスメックス国際試薬の工場と中国の試薬工場を、2014年9月にはシンガポールの試薬工場を移転・拡張しました。

シンガポールでは、2000年より北部のウッドランズ地区で試薬生産を行っていましたが、このたび、西部のジュロン地区へ工場を移転しました。新しい工場は、従来の3倍以上の広さがあり、生産エリアを1.6倍に拡張して生産能力を高めたほか、新たに倉庫エリアとオフィスエリアを設けています。

今後も高品質な製品を安定的に供給することで、世界中のお客様に“安心”をお届けし続けます。

オープニングセレモニーの様子

工場内の生産エリア

新工場が入居するビルの外観

	新工場	旧工場
総床面積	6,900㎡	2,000㎡
生産エリア	3,200㎡	2,000㎡
倉庫エリア	2,300㎡	—
オフィスエリア	1,400㎡	—

お客様の願いをカタチにする

シスメックスの主力であるヘマトロジー分野*の検査に革新的な価値をもたらした「XNシリーズ」。この製品はどのようにして生まれ、医療現場で高い評価を得ていったのか——。シリーズ第4回は、当社の営業担当者と「XNシリーズ」を導入していただいたお客様の声を通して、実際の検査現場での評価をご紹介します。

>> 今回は、「XNシリーズ」を実際にご使用いただいている神戸大学医学部附属病院の検査室にお伺いしました！



神戸営業所
営業係長 山本 淳



多項目自動血球分析装置
XNシリーズ
2011年の発売以来、世界のヘマトロジー検査の現場で活躍するシスメックスのフラッグシップモデル。

お客様の声

「XNシリーズ」の導入により、検査業務の高度化・効率化を進めることができました。



神戸大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 林 伸英 様

神戸大学医学部附属病院検査部は、入院患者さんと外来患者さんの毎日の臨床検査*を一手に引き受ける中央診療部門として、年間述べ750万件の臨床検査を行っています。血液検査は、1日に800~1,000件を24時間体制で実施していますが、10年前に比べ、検査数は倍増しました。この検査数の急激な増加に対応し、検査が集中する時間帯にも患者さんをお待たせしないために、検査時間の短縮や検査ラインの渋滞の緩和が重要なテーマでした。こうした課題は、「XNシリーズ」の導入によって大きく改善されました。さらに、測定精度も向上し、低値血小板や低値白血球の検出は、患者さんの治療に大いに貢献しています。また、再検査を自動で行う機能や、検体を特性ごとに並べ替える装置、カートリッジ試薬なども現場での評価が非常に高く、検査技師の目線で開発された優れたシステムだと思います。

『製品を販売することがゴールではありません。より良い検査環境を実現してこそ、お客様の評価は得られます。』

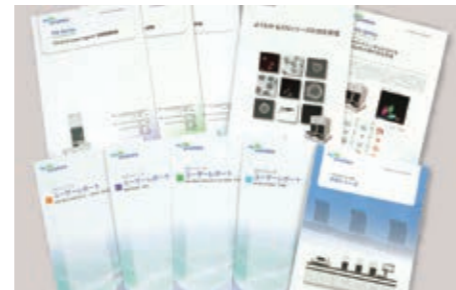
「お客様に自信を持って提案できる」という確かな手応え

私たち営業担当者は、新製品が発表されると地域ごとの集合研修でその特長を学びます。初めて「XNシリーズ」を目にした時には、スマートなデザインがまず印象に残りました。分かりやすい操作パネルや交換しやすい試薬など、お客様の

ことを考え、従来より格段に使いやすく工夫されている点に好感を持ちました。また、先代の「XEシリーズ*」で評価の高かった特長を継承しつつ、測定精度をさらに向上させている点にシスメックスらしさを感じました。「世界中の医療現場から寄せられたご要望を反映した製品」という安心感もあり、「これは自信を持ってお客様におすすめできる」と、自社製品ながら完成度の高さに感心したのを覚えています。



日々の営業活動では、最新のタブレット端末なども活用しながら、お客様への積極的な情報提供に努めています。



製品パンフレットやユーザーレポート、実際の症例を用いた検査結果の解説書など、多種多様な情報を提供しています。

製品を含むシスメックスの総合力で、きめ細やかな提案が可能に

実際の営業活動は、当社が蓄積している医療機関の情報をもとに行っています。血球分析装置は約5年から10年で更新の時期を迎えますが、日頃から定期的にお客様を訪問してご要望や将来の構想、環境の変化などを確認します。そして更新の時期になると、検査技師の方が作業しやすい動線の確保や最適な機器の配置、患者さんに配慮した待合室の設計など、お客様の環境にあわせて総合的な提案を行います。

シスメックスの提案の強みは、この「総合力」にあります。必要な処理能力や測定項目を自由に選べる「XNシリーズ」が加わったことで、さまざまなお客様のご要望に、より柔軟にお応えできるようになりました。

2013年9月に「XNシリーズ」を導入していただいた神戸

大学医学部附属病院様の検査室の提案には、まさにその総合力を発揮することができました。当時、病院では、より迅速に正確で高品質な検査結果を提供するため、検査室の改築を計画されていました。そこで、「XNシリーズ」の特長を生かしながら、血液検査、生化学検査、免疫検査などの検査スペースや採血ブース、患者さんの待合室を含む検査室全体の最適なレイアウトを提案し、検査スピードの向上や検査業務の効率化を実現しました。

新しい検査室の完成後は、近隣の検査施設からの見学も多く受け入れていただき、検査現場の生の声として、「総合的にシスメックスにして良かった」という評価をお伝えいただいていると伺っています。今後も、「XNシリーズ」をはじめ、シスメックスの総合力を最大限に活用し、より一層、お客様のお役に立てるような提案を続けていきたいと思っています。

▶ 「XNシリーズ」について4回にわたりお伝えしてきた『現場のチカラ』は今回で最終回となります。次号からの新しい特集をお楽しみに！

5 *ヘマトロジー分野:血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*XEシリーズ:21世紀の医療ニーズを見据えて開発されたマルチメディア対応の血液分析装置。

*臨床検査:身体の状態を調べる検査。身体から採取した血液や尿、細胞などを調べる「検体検査」と、心電図や超音波など身体を直接調べる「生体検査」があります。

はくり 剥離細胞分析装置「LC-1000」を新発売

子宮の入り口に発症する「子宮頸がん」は、日本では年間約1.2万人が罹患していますが、早期発見に重要な検診の受診率が低く、受診を促す取り組みが行われています。一方で、現在の検診は、子宮の入り口から採取した細胞を専門の検査技師が顕微鏡で確認する方法が主流で、受診率の向上に伴い、検査技師の負担も増すことが懸念されています。フローサイトメトリー*の技術を応用して開発された「LC-1000」は、個々の細胞やその核の大きさなどを自動で測定・解析し、ごくわずかな細胞の変化を高精度に検出します。将来的には子宮頸がんの検査の診断支援に活用できるよう、臨床的有用性を検証していきます。

*フローサイトメトリー：細胞などの微粒子を流体内に細く流し、レーザー光などを用いて分析する手法のこと。



剥離細胞分析装置「LC-1000」

理研ジェネシスへ出資し、 遺伝子解析・検査事業を推進

当社は凸版印刷株式会社の子会社である株式会社理研ジェネシスに出資し、遺伝子解析・検査事業の発展に向けた相互協力を進めています。一人ひとりの患者さんに最適な医療（個別化医療）を提供するために、遺伝子を検出し、遺伝子情報と病気との関係を解析する技術の実用化が求められています。今後は各社が保有する技術を掛け合わせることで相乗効果を発揮し、個別化医療への取り組みを加速させていきます。

個人投資家向け情報提供における 優良企業に3年連続で選定

「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」（平成26年度）の「個人投資家向け情報提供」部門の優良企業に3年連続で選ばれました。社長による個人投資家向け会社説明会、事業内容や強みなどが探しやすい個人投資家向けウェブサイト、見やすく分かりやすい株主通信などが評価を受けました。今後も引き続き、公平、迅速、正確で分かりやすい情報開示に努めてまいります。



「第4回神戸マラソン」に特別協賛

2014年11月23日（日）に「第4回神戸マラソン」が開催され、約2万人のランナーが神戸の街を駆け抜けました。第1回から特別協賛を続けている当社からは社員ボランティアが多数参加したほか、同時開催された「神戸マラソンEXPO」の展示ブースには、約4,000人もの方々にご来場いただきました。



声援を送る社員



「神戸マラソンEXPO」の展示ブース

会社概要

(2014年12月31日現在)

■商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■設立年月日 1968年2月20日
■資本金 104億528万円

■格付け A+ (R&I: 格付投資情報センター)
■従業員数 6,622名(連結) 2,314名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会 6月
■基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

■上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
■証券コード 6869
■単元株式数 100株
■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先 (郵便物送付先・電話照会先)
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。